

那須岳

火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

概況

・噴気など表面現象の状況(図1、図2)

茶臼岳の噴煙は少ない状態が続いており、噴煙高度は火口縁上おおむね100mで経過しました。噴煙高度及び噴気温度は1990年以降、低いレベルで推移しています。

・地震や微動の発生状況(図1)

火山性地震の発生回数は1日あたり0～4回と少なく、地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況(図3)

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

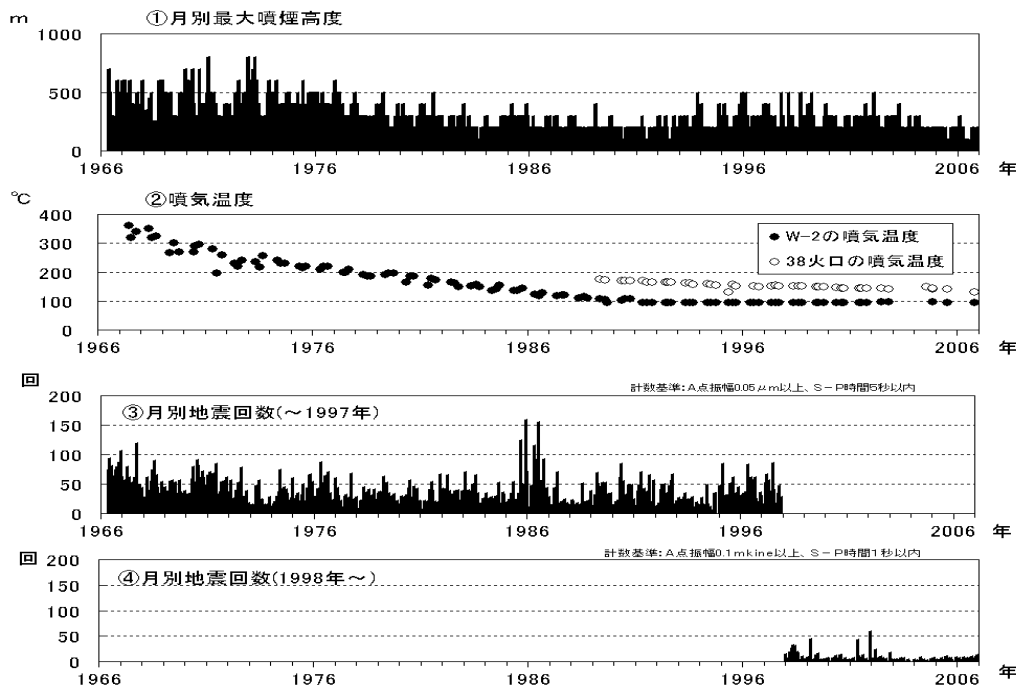


図1 那須岳 最近の火山活動の推移(1966年1月～2006年12月)
 定時観測(09時・15時)による茶臼岳の月別最大噴煙高度
 噴気温度(W-2及び38火口はいずれも茶臼岳西側斜面にある温度観測点)
 地震回数は計数基準の変更前後でそれぞれのグラフに表示

この資料は気象庁のほか、東北大学及び独立行政法人防災科学研究所のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。



図2 那須岳 茶臼岳付近の状況(2006年12月28日、那須湯本遠望カメラによる)

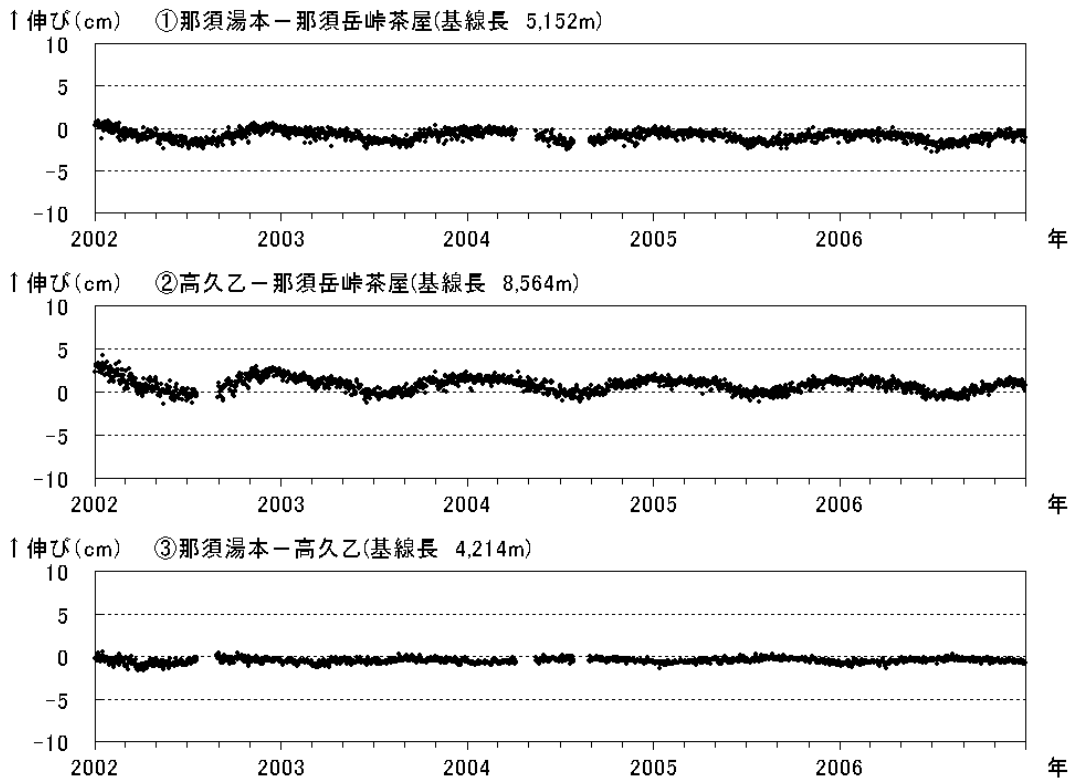


図3 那須岳 GPS連続観測による基線長変化(2002年1月~2006年12月)

基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。

~ は図4のGPS基線 ~ に対応しています。

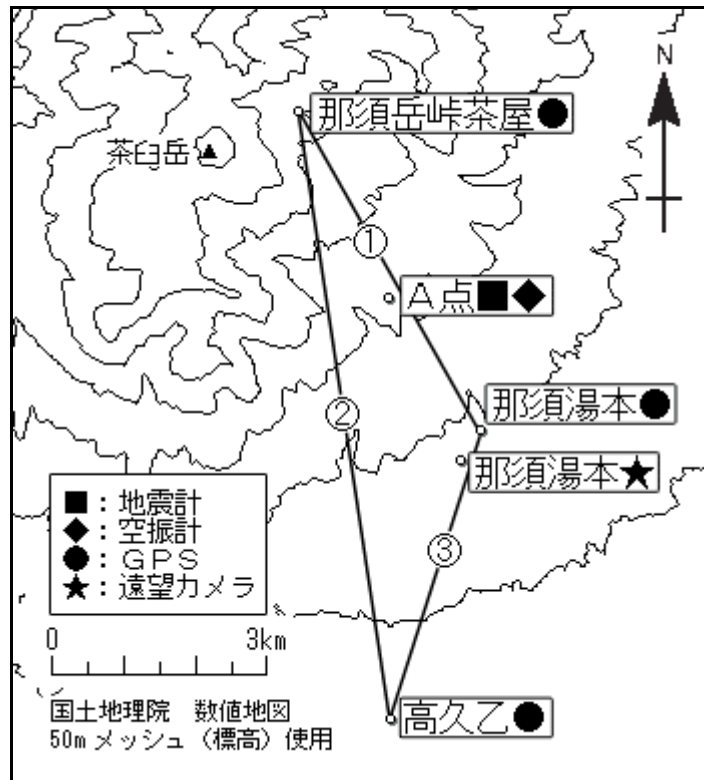


図4 那須岳 気象庁の観測点配置図(小さな白丸は観測点位置を示しています)
GPS基線 ~ は図3の ~ に対応しています。